



とーや湖

さざなみ通信

洞爺湖畔にも北国の春が巡って
きました。

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症に対する「まん延等防止重点措置」は3月21日をもって終了しましたが、北海道では4月以降に徐々に新規感染者数が増加しております。特に当院が所在する西胆振地区では新規感染者数が過去の数字を超えており、マスクや手指消毒などの基本的な感染対策は、まだ緩められないと感じております。

さて、当院では今春に、医師、看護師、介護士、医療ソーシャルワーカー、事務職員を新たに迎えることができました。地域医療に貢献する医療人として今後の彼らの活躍を期待しております。新型コロナウイルス感染症への対応を含めて年々業務の範囲が広がり、新たな医療の体制が求められるようになってきました。職員全員が一緒になって、より質の高い医療やケアを提供できるように学んでいきたいと考えております。本号にて入職者を紹介していますので、ご覧いただければと存じます。

当法人は昨年度に2度の改修工事を経て、216床の病床のうち100床を介護医療院に再編いたしました。病院病床は116床となりましたが、障害者病棟、医療療養病棟、特殊疾患病棟、緩和ケア病棟の4つの病棟で構成することには変わりはありません。地域の急性期医療機関の後方支援、在宅および近隣の介護・福祉施設における急性増悪時への対応は、これからも従来通りに行って参ります。また、日本医療機能評価機構

の更新審査を来年度に控えており、日々の医療活動において不備な点や不足している部分を見直す機会として、継続的に準備を進めて参ります。

一方、新たに設置した介護医療院では、今年度の目標に「理念を浸透させ実践する」を掲げました。介護医療院なのはなの理念は、『利用者の個別性を尊重した、快適な生活施設』、『信頼されるチーム医療・介護の実践』、『尊厳ある看取りが行われる』の3つです。

テイルームでは音楽療法士を交えたお誕生会や、スタッフによる風船バレーなどのレクリエーションを行っており、スタッフとの関わりが増えるように工夫しております。最近では、病院病床を経由せず自ら介護医療院へ直接の入所を希望される方も増えてきています。

当院は、地域において高度の急性期医療や専門性が高い医療が提供される医療機関と連携しながら、当院で対応が可能な様々な疾病や介護のニーズに対応して参ります。これからも職員一同で精一杯、地域の医療に取り組んで参ります。今後も変わらぬご支援・ご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



院長 中谷 玲二

令和4年4月25日

院長 中谷 玲二

介護医療院『なのはな』増床工事 完了のお知らせ

介護医療院『なのはな』施設長よりご挨拶

洞爺もいよいよ春らしく穏やかな気候に心和む季節となりました。

介護医療院なのはなを昨年7月に開設して以来、地域の皆様に受け入れて頂き、今年初めからの西2階病棟の改修工事でもコロナ禍の中順調に進み今年3月より2・3階合わせて100床に増床し、再スタートとなりました。

介護医療院とは、医学管理・ターミナルケアなどの医療機能と生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。当院では従来の介護療養型病床を改修して介護医療院に転換し、院内の公募により“なのはな”と命名しました。菜の花の花言葉は”快活・明るさ“、入所者の方々に元気で明るく生活を楽しんで頂きたいという願いが込められています。

従来の病床に比べ、”生活の場“”個人の空間“を意識した造りとし、医療・看護・介護・リハビリは従来と同等のものを提供できる施設としております。質向上のため定期的に多職種でカンファレンスを開き、高齢者の特徴や認知症への理解を深めるための研修会も開催しております。これから増すであろう地域の介護ニーズに応えられるものと自負しております。今後とも地域医療・介護サービスに貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



『なのはな』施設リーダーよりご挨拶

西2階介護病棟は3月より介護医療院「なのはな」となりました。居室やデイルーム、浴室は温かみを感じられるよう改修を行い利用者様からも好評をいただいています。療養生活の中では利用者様がこれまでの生活の中で大事にしてきた事、これからどのように生活していきたいのかを聞き日々のケアに生かせるようにしています。

終わりの見えないコロナ渦の中で、以前のように自由な面会や外出等が出来ず利用者様もご家族様も寂しく不安な毎日をご過ごしていると思います。利用者様には楽しみのある生活を送っていただけるよう、季節毎のレクを毎週企画し参加していただいています。ご家族様にも日々の様子を少しでも見ていただけるよう、レクや誕生日の際のお写真を送らせていただいております。新しくスタートした「なのはな」をどうぞよろしくお願いいたします。



浅利施設リーダー

『なのはな』スタッフよりご挨拶

なのはなの理念の中で特に私は①快適な生活の提供②尊厳ある看取りの実践の2項目について心がけております。①は各利用者の個性を尊重し、例えば入浴は利用者の介護度や動きに合わせて⑦ストレッチャーを利用した特浴、⑧車椅子に乗車したまま入れるミスト浴、⑨見守り又は一部介助で通常の浴槽を利用する介助浴の3種類をそれぞれ週2回実施しております。レクリエーションも利用者全員が楽しめる内容(風船バレー、誕生会、季節行事)を企画して毎週1回実施しております。

また、ベッドから離れられない利用者さんには個別に訪室してお楽しみ行事や季節感を味わってもらっています。②はその人らしい生活を送っていただけるように常に声掛けなどを行って見守り、最期の時まで普段通りに接することを大切にしています。こうして理念の達成に向け、日々努力を積み重ねてまいりますのでよろしくお願いいたします。



畠山ケアマネージャー

松井介護福祉士

2021年7月に開院した介護医療院なのはな(56床)に続き、なのはな part2として3月に44床の介護医療院が増床されました。合わせて100床となった新しい施設で、利用者さんにはこれまで、コロナ禍であまりできなかったレクリエーションを思う存分楽しんでいただく予定です。

レクリエーションだけではなく、利用者さん個々人の日常生活も充実出来るようにと考えています。具体的には、区切られた半個室の中でご自分の空間として気持ちの落ち着く生活をして頂きます。テイルームでは利用者さんや職員と関わりながら会話を楽しんだり、体を動かしながら家庭的な雰囲気の中で社会性も維持していただけるように、様々な趣向を凝らしていきますのでご期待ください。

松井介護福祉士



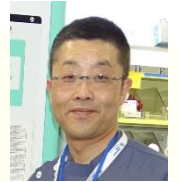
新 入 職 員 紹 介



今年1月から4月にかけて当院に入職した新しい仲間です。各自の抱負を聞いてみました。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

①氏名 ②職種 ③所属 ④抱負

		
<p>①小黒 武雄 ②医師 ③医局 ④聞く医療、ていねいな診療を心がけます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>①伏見 静子 ②看護師 ③東2B病棟 ④コロナ禍で医療従事者の人手不足が深刻化しています。少しでもお役に立てればという思いで入職しました。いろいろと制限がありますが患者さんが寂しい気持ちにならないように考えて看護します。</p>	<p>①小玉 亜希 ②看護師 ③東4F病棟 ④患者さん、ご家族に寄り添った看護を提供できるよう、日々精進していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。</p>
		
<p>①志賀 竜駿 ②事務員 ③医事課 ④3月14日より医事課に入職しました志賀と申します。日々勉強し、尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>	<p>①西川 昇子 ②MSW ③医療相談室 ④MSWの経験がありませんので一から学べることに、大好きな洞爺湖の側で働けることが今の喜びです。至らぬところもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。</p>	<p>①吉田 明美 ②看護補助者 ③介護医療院「なのはな」 ④入所されている方に「ここに来て良かった。」と思われるようにがんばっていきます。</p>



担当: 水谷薬剤課課長

テーマ「新型コロナウイルスの消毒」

新型コロナウイルスの蔓延で、適切な感染対策に興味をもっていることと思います。薬剤師の仕事として消毒薬が適切に使用されるためにアドバイスをすることが求められます。新型コロナウイルスの特徴を理解し、適切なタイミングで消毒することで感染を防ぐことができます。

新型コロナウイルスが、体内への侵入する入り口は「目」・「鼻」・「口」です。ここを守るのが最終目標です。人から人へ移る感染経路は、「飛沫感染」と「接触感染」の2つのルートが考えられ、消毒は接触感染による経路を遮断するのに有効です。

飛沫感染は、咳やくしゃみなどによって飛び散ったしぶきの中に含まれている新型コロナウイルスを口や鼻から吸い込むことによって感染します。近距離で接する機会の多い会食やカラオケなどの場所で発生しやすい傾向があります。

接触感染は、感染者が咳やくしゃみを手で押さえたあとに、その手でドアノブやスイッチなどに触れたりすると、そこに新型コロナウイルスが付着して、その場所を他の人が触って、その手で目・鼻・口に触れることで、粘膜からウイルスが体内に入って感染します。そのため、消毒はドアノブやスイッチなど人が触る場所を重点的に行います。また、ドアノブやスイッチなどを触った手は、手指衛生用アルコールで消毒や石鹸で洗います。石鹸は、新型コロナウイルスの粒子の一番外側にある脂質でできた二重の膜(エンベロープ)を壊し、感染力を無くします。特に目・鼻・口に触れる前は、必ず手指衛生を行いましょ。

新型コロナウイルスに有効な消毒薬や洗剤など以下の表にまとめましたので参考にしてください。

ウイルス対策	消毒薬・ウイルスに有効な洗剤・対処方法など
手の消毒	手指衛生用アルコール(アルコール濃度70%以上) 石鹸(一般的なもので大丈夫です)
ドアノブ、スイッチ、手すり テーブルなどの環境	次亜塩素酸ナトリウム(0.05%) 住宅用洗剤(かんたんマイペット®など)
食器類	食器用洗剤(チャーミーマイルド®など)
空気中のウイルス	定期的な換気を行いましょ

※消毒薬は適切な濃度で使用してください。洗剤は使用方法を守り使用してください。

※有効な界面活性剤を含む洗剤のリストや、洗剤の使い方は以下のウェブサイトで公開しています。)

参考：独立行政法人製品評価技術基盤機構 (<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>)
厚生労働省 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html)



洞爺温泉病院の理念

- 個別性を尊重した医療の提供
- 信頼されるチーム医療の実践

介護医療院なのはなの理念

- ◆ 利用者の個別性を尊重した快適な生活施設
- ◆ 信頼されるチーム医療・介護の実践
- ◆ 尊厳ある看取りが行われる

編集後記

最近は大分暖かくなってきて、我が家もタイヤ交換をしました。今はコロナ禍で大勢でのお花見などは難しいご時世ですが、せめて家族でサイクリングをしたりおいしいものを食べたりと春を楽しみたいと思います。
(H.E)

企画・編集

医療法人社団洞仁会洞爺温泉病院 広報図書委員会

〒049-5892

虻田郡洞爺湖町洞爺町54-41

TEL 0142-87-2311

FAX 0142-87-2260

ホームページ

<http://www.toya-onsen-hospital.or.jp>

